

私達はゴルフが好き。自然が好き
だから 地球環境に配慮した舞台で
ゴルフ観戦を楽しみませんか？



●ゴミの分別



ギャラリープラザ・ミニギャラリープラザには分別ゴミステーション(6分別)を設置。「コース巡回係り」「分別ナビゲーション」の担当者を配置。ゴミの処理方法に沿った分別を徹底しております。



●環境に優しい PETカップ・割り箸の使用



ギャラリープラザ・ミニギャラリープラザでのご飲食時には、リサイクルされたPETカップや森林保全のために間伐された材木から作られた割り箸をご使用頂いております。

●PETボトルキャップのリサイクル

“ペットボトルのキャップを外す”という行為により、ペットボトル本体の再資源化率を高めます。またキャップをリサイクルし、その収益で世界の子どもたちのためにワクチンを購入する活動に参加します。

●公共交通機関の利用者増を目指す

ギャラリーの皆様に公共交通機関の利用を積極的に呼びかけ、JR袋井駅よりギャラリーバスでご来場の方に大会オリジナルキャップをプレゼントし利用者の増加を促進しております。



●YAMAHA PASの活用

トーナメント準備期間中には、排出ガスや騒音を出さないクリーンな乗り物の電動アシスト自転車PASをスタッフのゴルフ場内移動用として活用。



電動アシスト自転車 YAMAHA PAS

●あいり抽選会を実施



お車1台に3名様以上お乗り合わせてご来場いただいた方に、素敵な大会オリジナルグッズが当たる抽選会を実施!

●食の安全・地産地消への取組み

食材が運ばれる輸送車両などから排出されるCO₂を削減。地元産品を使用することで、消費者である私たちもCO₂の排出を減らすお手伝いができるのです。



Yamaha Forest

ヤマハ(株)・ヤマハ発動機(株)両社共同によるインドネシア植林活動「ヤマハの森」は、今年5年目となりました。「ヤマハの森」は、両社が生産・販売拠点を置くインドネシアで、植林を通じた環境保全や教育支援などを行い、地域社会へ貢献していく5カ年計画の取り組みです。両社は、伐採などで本来の姿を失った土地を、天然林に近い環境へと再生することを目指しています。過去4年間で、合計で94ha、約86,000本の苗木を植林しており、今年度分として2010年3月までに26haに苗木26,000本の植林を実施します。5カ年で累計120ha、約112,000本の苗木を植林し、「ヤマハの森」5カ年計画の完了を予定しています。



●自然エネルギーの活用

本大会ではグリーン電力*を使用し、グリーン電力証書システムに参加し大会運営にかかる電力2万kWh相当量の自然エネルギーの普及に貢献しているゴルフトーナメントです。

※グリーン電力

風力、太陽光、バイオマス(生物資源)などの自然エネルギーにより発電された電力のことです。石油や石炭などの化石燃料による発電は、発電するときにCO₂(二酸化炭素)が発生しますが、自然エネルギーによる発電は発電するときにCO₂を発生しないと考えられています。また、再生可能であるため環境への負荷が小さいエネルギーです。



グリーン電力証書システムに参加し、電力2万kWh相当量の自然エネルギーの普及に貢献しています。